



春の陽気に誘われて (『やよいまつり』 3月21日)

伊 不 里

宣言します！
さわやか市政

広報
Imari

2005
(平成17年)

4



そめつけせいじょうかもんさら
染付青磁桜花文皿

鍋島 1670～1680年代
高さ 3.5 口径 15.3 底径 8.0cm

今月の主な内容 NO.614

| | |
|--------------------------|----|
| 特集 『食のまちづくり』..... | 2 |
| インフォメーション伊万里..... | 10 |
| 住みたいまち！行きたいまち伊万里... 14 | 14 |
| 教育と文化..... | 15 |
| みんなの広場..... | 16 |
| ほがらかページ..... | 18 |
| スポーツ..... | 20 |
| くらしのチャンネル..... | 22 |
| お便り..... | 24 |

『食のまちづくり』

伊万里市がめざす『食のまちづくり』。それは、ないものねだりではなく、あるものさがしから！農産物、焼き物、郷土料理、文化、自然、歴史など、伊万里にはすばらしい素材があることを市民の皆さんが再発見・再認識する。そして伊万里に住んでいることを誇りに思えるような『食』のまちづくりをめざしていきます。今回は、2月26日に市民センターで行われた『食のまちづくりシンポジウム』の様相を紹介しながら、皆さんといっしょに食のまちづくりについて考えてみましょう。

くり シンポジウム

定検討委員会の都市宣言文起草委員 6 人が行われました。



『食』に対する

機運の高まり

最近、全国的にスローフードや地産地消といったテーマで、市民団体や自治体レベルでの食に関する活動が活発に行われています。伊万里市でも、15～16年程前から各地に農産物直売所が出店され始め、それとともに、地元食材を使った特産物や商品の開発・研究が盛んになっています。

また、小学校では『田んぼの学校』などで米の収穫体験をしたり、中学校では、佐賀県オンラインワン事業として『地産地消』などをテーマとした総合学習を行ったりしており、伊万里の農産物についての知識が子どもたちにも浸透しつつあります。

さらには、市民自らの提案により

『伊万里食三昧料理コンテスト』や『お菓子まつり』のような、『食』を切り口とするまちづくりの取り組みが行われるなど、市民レベルでの『食』に対する機運がどんどん高まっています。

伊万里独自の

食のまちづくりをめざして

このような機運の高まりの中、生産者から消費者までをつないだ『食』を生かしたまちづくりの考え方や方向性を明確に定め、地域活性化に取り組み『食のまちづくり推進計画』を策定する必要性がでてきました。

この推進計画は、市民の皆さんが、自らのまちの良さを見直し、再認識

伊万里市食のまちづくり宣言

この伊万里をふるさととして愛する私たちは、美しい海や緑豊かな山や川など、恵まれた自然に包まれて、地域固有の文化とくらしを大切にしてきました。

しかしながら、価値観や生活様式の多様化に伴い地域内の人のつながりが希薄化し、伝統文化や食に対する関心もうすれてきています。

私たちは、人と人のつながりを大事にし、住みたいまち、住みやすいまち、そして住み続けたいまちをつくるためにも、市民一人ひとりが伝統文化のよさを再発見し、もっと関心を深め、その継承に努めることが大切であると考えています。

山から里、さらに海へと広がる伊万里には、新鮮で安全な食材があふれ、料理を盛るすばらしい食の器も身近にあります。

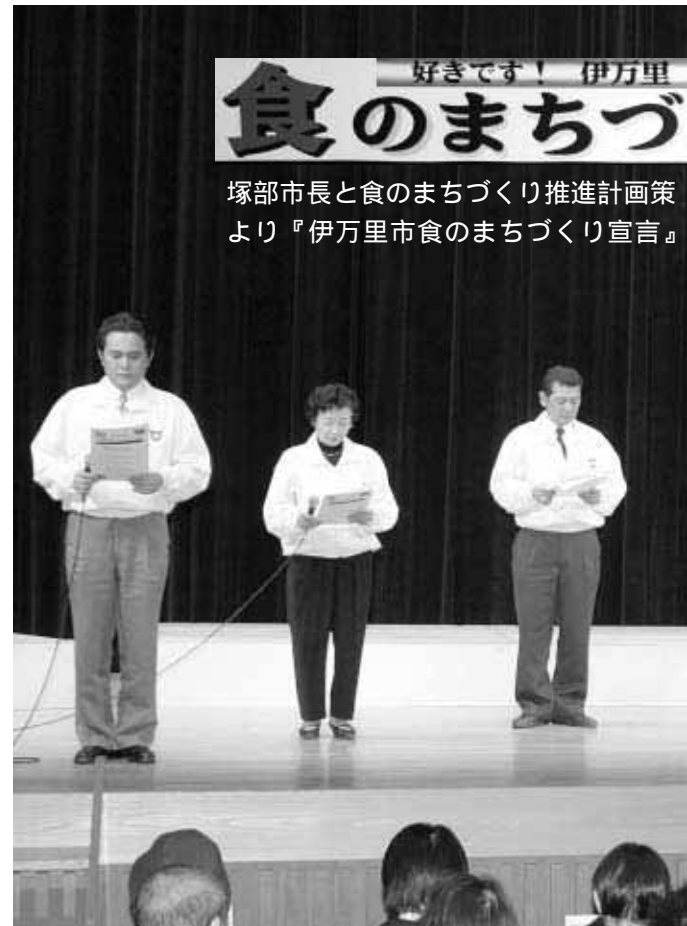
私たちは伝統文化のなかの食に注目し、身の回りで手に入るものを生かし、食育を通して自然を大切にする心を養うとともに、人間関係を豊かにし、地域の産業の育成を図って、伊万里の発展に努めます。

その実現を目指し、ここに市、市民、事業所の方々のご協力のもと食のまちづくりを進めることを宣言します。

- 一、食育を通じて、自然との共生につとめ、地域内の連携を深めて心豊かなまちづくりに努めます。
- 一、地元で育った豊かで安全な食材を使い、伝統的な料理を守るとともに、さらに工夫を重ね、新しい料理づくりに努めます。
- 一、私たちのまちを訪れてくれる多くの方たちに質の良い料理を提供し、食の器のすばらしさにも触れてもらい、伊万里の名を高めるよう努めます。
- 一、安全で安心な質の良い食材を供給できるように応援します。
- 一、地域や国、信条の違いを超えて、それぞれのもつ食の多様性を認めあい、交流を通して相互の理解を深めながら、共生の心を未来へつないでいきます。

平成17年2月26日

伊万里市



すること、伊万里に住んでいることを誇りに思えるような『食』のまちづくりをめざし、機運を高めていくことを目的としています。

これらを推進し、計画段階から市民や事業所の皆さんの意見を十分に聴くため、市民など29人で構成される『食のまちづくり推進計画策定検討委員会』を平成16年7月7日に設立。これまで5回の委員会を開催し、食育・観光・地産地消の3つの分科会でそれぞれ検討してきました。

そして2月26日には、皆さんに食のまちづくりへの理解を深めてもら

うために、市民センターでシンポジウムを開催。その中で、一人ひとりが市民共通の認識を持ち、食のまちづくりに対する意識を高め、全国に『伊万里の食』に対する考え方や取り組みを全国にアピールすることを目的に、『食のまちづくり宣言』を行いました。

そして、第6回目となる委員会で伊万里市独自の食のまちづくり推進計画案を決定し、今後は、食のまちづくりを広く情報発信するための事業を展開していきます。(推進計画は今後の広報でお知らせします)

伊万里市 食のまちづくり 宣言

食のまちづくりシンポジウム

さまざまな観点から食に関する意見発表

シンポジウムでは、農林高校生による黒米プロジェクトの研究発表や、新倉久美子さんによる薬膳料理についての基調講演、池田厚さんによる『食と私』と題しての特別講演が行われました。また、コーディネーターに平岡豊さんを迎えて、塚部市長やゲスト、市民代表によるパネルディスカッションも開催されました。

黒米を生かそう

地域特産品の加工を通して

黒米は、伊万里市東山代町の村おこしグループ『川内野米COME倶楽部』が10年の歳月をかけて復活させた古代米です。農林高校はこの『黒米』を使った加工品の開発を依頼され、プロジェクトチームを結成。試食会やアンケート、パン屋さんの指導などを通して、さまざまな研究を繰り返して『黒米パン』の商品化に成功しました。地元でできる原料を使うことで『地産地消』や『安全性』にこだわったこのパンは、販売会場では毎回短時間で完売しています。

研究発表では、生徒の代表が「高校生だからできることがある。黒米を通して食のまちづくりの手助けをしていきたい」と話しました。

郷土食は日本の薬膳

「本来わたしが本業でやってきたのは中国薬膳ですが、今はそれをわざわざ取り入れて広めるよりも、むしろ郷土食をもう一度見直してもらう方が健康にはいいという話をいろんなところで行っています」と話す新倉さんは、仕事のストレスからくる病気を中国漢方で治し始めたこと



食と農を考える全国女性の会
代表 新倉 久美子さん

がきっかけで薬膳料理の世界へ入りました。その後、仕事を辞めて、中国の大学で養生学・薬膳を勉強。卒業後は、農林水産省からの勧めもあり、山梨県の農家の人たちに中国薬膳について教えはじめました。そして平成6年からは郷土食を使った、今という農家レストランを指導するようになり、中国薬膳の知識を生かし、地元の郷土食に効能をつけたりするなどアドバイスを行っていました。新倉さんは講演の中で「郷土食は旬に合わせて作った料理であり、そこは中国薬膳とまったく同じです。ですから『郷土食はふるさと薬膳料理』と言うことができます。その土地でとれる旬の食物の性質と効能を考え、組み合わせることで身も心も健やかに過ごすことができると思います」と話していました。

和食は世界に誇れる料理



(株)青山 代表取締役社長
池田 厚さん

「世界に行くといろいろな民俗料理がありますが、日本の料理は先人たちが苦労や努力を重ねて作り上げた世界でも冠たる料理です」と話す池田さん。伊万里市南波多町出身の池田さんは、現在、東京都で割烹を中心とした宮内庁御用達の料理会社を経営しています。

講演では、世界のさまざまな民俗料理を紹介しながら「日本が世界でも有数の長寿国であるのは、米を主食とし、肉や野菜、魚などをバランス良く配した和食が一番の健康料理であるからです。また、世界中で一番四季の美しい日本で採れる旬の食材はとてもおいしい。その旬の伊万里の食材を伊万里の器で盛りつけてもてなしをしてほしい。器は料理の着物であり、伊万里はその点においてもまた恵まれている」と話していました。



伊万里市長 塚部 芳和



新倉 久美子さん



食のまちづくり推進計画
策定検討委員

市丸 初美さん



池田 厚さん

平岡さん：皆さんに食のまちへの定着について提言をお願いします。

新倉さん：郷土食に尽きるのですが、やはり、安心して安全で新鮮でおいしいものが忘れられていたと思います。都会では難しいですが、地元では全てができるのです。伊万里は海、山、川があり、全ての食材があります。そして、最後に料理を提供する器があるということです。ある意味では一番すばらしいまちではないかと思っています。また、すばらしい研究をされているグループがありますので、この人たちが活躍する場を作っていただけたらと思っています。

池田さん：おせち料理について話します。おせち料理には一つ一つ意味があります。そして、正月は忙しいので保存もできる料理になっています。例えば黒豆はマメに働く、昆布は喜ぶ、鯛はめでたい、レンコンは見通しがよいなどといわれています。わたしは今年2000食作りたいへん喜ばれました。このように、節句の料理というものには『いわれ』が入っていて、家庭ではとても大事にされていました。そのようなものを、今からも大事にしていくことも参考になるのではと思い、話してみました。

平岡さん：正月の料理は家族の願いを込めた料理だとわかりました。

市丸さん：わたしは農業を通して自分が感じたことを話します。わたしは、プロイラーの飼育と加工品販売、花苗の生産販売などを行っています。自分の作った農作物に自信を持っています。安全で安心なものを提供し、消費者でもある自分もそのようなものを望んでいます。生協の皆さんたちと長年の意見交流や研究によ

食のまちづくり



マーケティングプロデューサー

平岡 豊さん

パネル ディスカッション

り、信頼関係が結ばれてきました。鳥インフルエンザが発生した時も、生協の皆さんから「あなたのところは安心です」と温かい言葉をかけてもらいました。このようなことから、食の安全の大切さや生産者の責任の重さを感じました。わたしたち生産者が自信と誇りを持って育てた農産物を、地元の人に広く知ってほしいと思っています。現在、畑の中のレストランが行われていますが、消費者だけでなく生産者にとっても勉強になるよい企画だと思います。このようなものを、大人だけではなく子どもたちにも経験させたいと思っています。まずは、伊万里の人たちが伊万里のよさを知り、他の地域の人たちに自信を持って伝えていく必要があると思います。

平岡さん：顔の見える農業というのは、日ごろの濃密な交流が信頼につながっていくのだと思いました。

塚部市長：わたしは、農業行政に12年ほど携わっていましたが、そのころの平成元年に伊万里ふるさと村の事業が始まりました。この事業で、農産物の直売やレストランなどを体験したことで、地域の人々が地域のよさに気づいて、まちづくりをしていかなければと思いました。そして『食と器の祭典』というものを、市民共通の認識をもって、いつの日か伊万里でやってみたいという思いをあたためていました。伊万里には豊富な素材がありますので、それらを生かした取り組みを行い、全ての市民が誇れるようにしていきたいと思っています。

平岡さん：食というものが、とらえようによっては地域の活性化につながっていくと実感が湧いてきました。

伊万里市 食のまちづくり 宣言

食のまちづくりアンケート

食のまちづくりにあなたができること必要なこと

今回の『食のまちづくりシンポジウム』は、食をテーマとしたさまざまな研究発表や展示、伊万里の農産物の販売など多彩な催しが行われ、たくさんの方が参加しました。そこで、このシンポジウムに参加した人たちが食のまちづくりについてどのように思ったのかアンケートを行いました。



食に関する『絵手紙』作品の展示

(回答者数：216人)

【問】この催しに参加してどうでしたか

| | | | |
|--------|------|--------|-----|
| 大変よかった | 108人 | よかった | 96人 |
| ふつう | 8人 | よくなかった | 0人 |
| 無回答 | 5人 | | |

【問】『食のまちづくり』を進めるために、あなたができるとは何だと思いますか(複数回答可)

| | |
|---------------------|------|
| 地元でとれた旬のものを食べるようにする | 179人 |
| 家庭での食生活を見直してみる | 115人 |
| 郷土料理を見直す | 96人 |
| 何もない | 1人 |
| その他 季節にとれる物を使いたい | 3人 |
| 地産地消の大切さを口コミでPRする | 2人 |

【問】『食のまちづくり』を進めるために、必要なことは何だと思いますか(複数回答可)

| | |
|--------------------------|------|
| 地場産の食材を使った農村レストランを開設する | 103人 |
| 焼き物と地場産の食材を組み合わせた取り組みを行う | 74人 |
| 学校給食や飲食店・病院等で地場産の食材を使う | 118人 |
| 生産者の顔が見える食材の販売を行う | 104人 |
| 伊万里市独自の加工品を創作する | 68人 |
| 伊万里独自の食三昧弁当を考案し、売り出す | 39人 |
| その他 食の教室・講座を開催する | |
| 地元の食材を使って調理講習などもしてほしい | |



300個限定で販売された伊万里牛メインの食三昧弁当



伊万里中学校生徒による『地産地消』パネルの展示



伊万里陶磁器工業協同組合から提供された器に
伝統料理などを盛りつけた『食と器』の展示



伊万里農林高校生による黒米パンの販売



農産物の直売



元気鍋でつくった黒米だご汁を食べる中学生



宝くじ助成事業で製作された元気鍋で
黒米だご汁をつくる『川内野米COME倶楽部』の皆さん



市内の幼稚園・保育園・小中学校から431点
食のまちづくり『詩・ポスター・絵』作品展示

【問】その他、ご意見、ご感想などがありましたらご記入ください（59人記入：抜粋）

- ・講演を聞いて、わざわざ高いものを買わなくても旬の物を食べたほうがよいとわかりました
- ・旬のわかる売り方をする
- ・薬膳料理専門店をぜひ作ってほしい。伊万里の顔として立ち上げてほしい
- ・よい会に出席しました。高齢者の出番があると思いました
- ・正しい食の知識を持つことによって、現在あふれている食材食品から身体によいものを選択することが必要ではないでしょうか。食品添加物についても知りたい
- ・安価ばかりにとらわれず、安心して食べられる食材をどこでも手に入れることができれば、主婦も助かるし、農家の方々も作業に意欲が出ると思う
- ・今日みたいな話を多くして食の勉強を系統的に学びたいと思っています。市の行事に入れてほしい
- ・わたしたち料理を提供する側に携わる者として、少しでも伊万里を全国に発信できるような力になるよう勉強してみたいと思いました
- ・学校給食を伊万里の米で週3回くらいにしてはどうか
- ・食べ物＝生産者＝消費者 郷土食。食のまちづくりの推進委員のメンバーを拝見すると生産者の顔が少ないが、一人歩きしないようにお願いします

伊万里小学校総合学習『米につっこめ大作戦』の取り組みから

世界にひとつだけの

手作り茶わんでごはんを食べよう

一本の電話から
始まった

郷土料理、特産料理の
レシピを送る

『梅じゃーごはん』を
自作の茶わんで食べよう

2月1日、農林水産課に伊万里小学校の児童から電話がかかりました。内容は、次のようなものでした。

このような依頼を受けた農林水産課は、JA伊万里女性部の皆さんの協力を得て、『伊万里の主な行事食』を作成。その中で、節句や祭りなどで出される料理や、そのレシピなどを季節ごとにわかりやすく紹介しました。そしてこの資料と伊万里の特産でつくる料理のレシピなどを小学校に送付しました。

送付して何日か経ったある日、小学校から手紙が届きました。

『お返事ありがとうございます。おいしいそうな料理がたくさんあってどれも食べたくなりました。伊万里市内にこんなに郷土料理があることに驚きました。その料理をクラスで作ることにしました。みんなで相談した結果、一番人気の高かった『梅じゃーごはん』に決定しました。それは、簡単に作れておいしかったです。たことはもちろんです。学校の近くに梅園があること。米づくりの学習でお世話になった人が梅園に関わっていることからです。また、その時はみんなで作ったごはん茶わんで食べたいと思っています。どんな料理になるか楽しみです。本当にありがとうございました。』

わたしたちに料理を教えてください

わたしたち伊万里小学校5年生は総合学習で『食』について調べています。1、2学期に米づくり体験をしたので、それに関して米を使った料理、特に伊万里の郷土料理などについて知りたいと思っています。

伊万里の米を使った郷土料理（直売所で販売しているものや行事などでよく作られるもの）などがあったら教えてください。



農林水産課に電話をかけた5年1組の『お米をおいしく食べる料理』班
右から古崎菜央さん、市川理人くん、前田汐織さん

わたしたち伊万里小学校5年生は、1年間の総合学習で米作り体験学習を中心とした取り組みをしています。

社会科で米作りの実態や日本の農業の現状を学んだり、田を借りて米作りの体験もしました。その中でお米の大切さや日本人が主食として昔から『米』を食べてきたこと、日本の文化と関わりがあることなども学びました。学習をしていく中で、ごはんを食べるということを大切にしていこうという気持ちが高まってきました。

そこで、焼き物の里である伊万里の特性を生かし『世界にひとつだけの茶わんでごはんを食べよう』ということで、茶わんに絵つけをして自分だけの茶わんを作ることにしたのです。自分の茶わんで食べると、特別おいしく、何ばいもおかわりしたくなると思います。

伊万里の米と梅を

つかって料理に挑戦

2月25日、伊万里小学校で念願の『梅じゃこごはん』を世界にひとつだけの茶わんで食べる』計画が実行されました。

この日のメニューは『梅じゃこごはん』をはじめ、『とり肉の梅煮こみ』『梅のむヨーグルト』『大豆と野菜たっぷりスープ』『石がきだご』とすべて伊万里の食材をつかった5品。当日は、JA伊万里を通じて紹介してもらった『JA伊万里梅部会』の6人が指導にあたりました。



みんなで考えた

アイデアを実現

この計画は、自作の茶わんでごはんを食べるという計画(右ページ下参照)と、3学期に『お米をおいしく食べる料理』の研究をしていた班の計画の2つを融合させたもので、5年1組のみんなで考えたアイデアです。

子どもたちは、昨年、海のシルクロード館で絵つけをした、まさに世界にひとつだけの自分の茶わんを用意していました。その茶わんには、アニメのキャラクターなどが思い思いに描かれていて、なかにはごはんを全部食べると見えるように、茶わんの見込みに『うまかつた』『ごちそうさま』と書かれたものもありました。

5品の料理が完成すると、さつそく自分の茶わんに梅じゃこごはんを入れて、みんなでおいしくいただきました。

梅料理のフルコース



梅料理に挑戦して

わたしは、梅料理は梅干しだけではなく5品もできてびっくりしました。その中でも、世界にひとつだけの茶わんで食べた『梅じゃこごはん』は、とってもおいしかったです。そして、今日食べた料理がすべて伊万里産の食材だということにおどろきました。これからも、伊万里産のおいしい食材をたくさん食べてみたいと思いました。



藤富 菜摘さん

今日は5品の料理を作りました。これを作る食材は全部伊万里産だそうです。梅料理の『とり肉の梅煮こみ』は、梅をジュースにしていたから「こんな料理の仕方があるんだ」とびっくりしました。家でもいろいろな食べ物の研究をしようと思いました。

これからも、伊万里の食材を使い、他の市や県の人たちに、伊万里の食品のおいしさを一人でも多くの人に教えてあげたいと思いました。



中村 花琳さん

食のまち伊万里を誇りに！

おかげさまで子どもたちも念願の料理『梅じゃこごはん』を世界にただひとつの自分の茶わんで食べることができました。

また、これを機会に地域の人たちとも交流ができて本当によい経験ができたと思います。

子どもたちには、食の豊かなまちとして、伊万里のまちのよさを知ってもらい、食のまち伊万里に住んでいることを誇りに思ってもらいたいと思っています。

伊万里小学校5年1組
担任：栗田 幸子さん

市民と行政との協働によるまちづくりを推進するために

4月1日から 市民意見提出手続制度を 始めます

問合せ 情報広報課(☎2111内線225)

1月4日から2月4日の期間で実施した『市民意見提出手続制度実施要綱案に対する意見募集』の結果、皆さんからのご意見はありませんでしたので、この制度を4月1日から始めます。

この制度は、皆さんの多様なご意見を市政に反映する機会をつくるものです。また、市の皆さんへの説明責任を果たすことで公正の確保と透明性の向上を図るとともに、市民と行政との協働によるまちづくりを推進していきます。



市民意見提出手続 (パブリックコメント手続)制度とは…

これからの伊万里市の基本的な計画や皆さんに関係の深い決まりごとをつくるときに、次のような手続を行うものです。

1. 計画等の決定前に、皆さんに計画の案を公表し、意見を募集します
2. お寄せいただいたご意見に対する市の考え方を公表します(採用・不採用は問いません)
3. お寄せいただいたご意見を考慮して、最終的な計画を作ります

市民意見提出手続の主な流れ

対象事案の策定



1か月前までにホームページなどで実施の予告をします

政策等の案の公表



意見・情報の募集
HP、広報紙への掲載、窓口での閲覧等

意見等の募集



どなたでも意見を提出
することができます

市民からの意見提出(1か月程度)
提出方法: 郵便、ファックス、メール、
直接持参

提出された意見を政策の案に考慮・反映



政策等の意思決定



意見に対する市の
考え方・修正内容の公表



寄せられた意見とその意見に対する市の考え方、意見を受けて案を修正した場合はその内容を公表します。公表の方法は案の公表と同じです。

決定!

いつまでも美しい伊万里をみんなの手で守るために

はじめよう、ごみ減量化

問合せ 生活環境課 (☎2111内線283)

伊万里市で1年間に出されているごみの総量は約1万6千トン以上にもなります。しかし、ちょっとした工夫によりごみの減量化ができます。

ごみを減らす工夫は、『REDUCE(リデュース:ごみを減らす)』、『REUSE(リユース:繰り返し使う)』、『RECYCLE(リサイクル:資源を再生利用)』の3つのRに代表されます。この3つのRを実行して、家庭でのごみの減量化(=ダイエット)に取り組んでいきましょう!

リデュース REDUCE(ごみを減らす)

ごみを減らすための第1歩は、ごみになるものを増やさないことです。代表例としては次のとおりです。

- ◆マイバッグを持参することで、過剰包装を断る
- ◆詰め替え商品を利用し、使い捨て商品はできるだけ購入しない
- ◆食材を買いすぎたり、お料理を作りすぎないようにすることで生ごみの排出を極力減らす



リユース REUSE(繰り返し使う)

ごみは、持ち主がいなくなった時、はじめてごみになります。何度でも繰り返し使えるものを選び、本当に使えなくなるまで捨てないようにしましょう。代表例は次のとおりです。

- ◆壊れたら修理する
 - ◆リサイクルフェアや不用品交換情報を活用する
- ※9月23日(金・秋分の日)にリサイクルフェアの開催を予定しています。詳細については追ってお知らせします。不用品交換情報については、生活環境課までお問い合わせください。



リサイクル RECYCLE(資源を再生利用)

空き缶、空きびん、古紙などは、資源として再生利用できます。代表例は次のとおりです。

- ◆分別収集に協力する
- ◆ペットボトル、食品トレイは市の指定袋で排出する(食品トレイは店頭での回収もされています)
- ◆空き缶、空きびん、古紙は、リサイクルサンデーでの回収に参加する



家庭でできる! 省エネルギーと地球温暖化防止対策

地球温暖化を防止するために、家庭で出来る取り組みを紹介します。皆さん、まずはできることから始めてみましょう。

◆待機電力を減らそう

もし、家庭の待機電力を90%減らすことができたとして、効果は……年間約87kgのCO₂の削減
年間約6,000円の節約

- 待機電力とは、家電製品を使っていないときでもタイマーやリモコンなどのために消費される電力をいいます
- 使わないときは、コンセントからプラグを抜くか主電源から切りましょう
- 買い換えのときは、待機電力の少ない製品を選びましょう 資料:「みんなの家庭で減らそうCO₂」(環境新世紀「エコ・ミレニアム」実行委員会)

さわやかが伊万里

タウンミーティング

第13回

市民の皆さんと市長自身が直接対話し、皆さんの生の声を市政に反映させるとともに、市政の現状やこれからの方向などをわかりやすく説明する対話集会『さわやかが伊万里タウンミーティング』。その第13回目、2月22日、立花公民館で開かれました。ここではその内容をお知らせします。（内容の一部を抜粋して掲載しています）



信号機の設置について要望書が提出されているが、どのような検討をされているのか。

A 【市長】 駅ビル間の車道を

Q 伊万里駅周辺の交通安全対策について。2階のデッキを渡らずに道路を横断している人が多く、危ない場面も何度も目撃されている。事故が起きてからでは遅い。安全対策として、最低でも押しボタン式の横断歩道が必要だと思うが、市の考えを聞かせてほしい。

【市長】 かなりの人が横断しているという状況は把握しています。南北道路は、鉄道を分断して道路を通す全国初の道路で、この道路は計画段階から通行量が多く非常に危険だとわかっていたので、横断歩道ではなくデッキをつくろうとなったわけです。当然、設計段階では信号機を設置し、横断歩道をつける提案もあり検討されました。しかし、駅前交差点から距離が近すぎることや、駅ビルへの進入車両があることから、駅前線の現在の交通量が処理できなくなるため難しかったわけです。安全対策としては、やはりエレベーターを利用しデッキを通ってほしい。市としてもそのための啓発普及をしていきたいと考えています。

については、この立花・川東線道路の開通でかなり利用する車が多くなり、沿線上の2か所に信号機を設置するよう、市と伊万里警察署に対して立花地区交通対策協議会から要望が出されました。信号機設置は、基本的には県の公安委員会が決定がなされるため、市としてはさつそく伊万里警察署に設置要望を行ったところです。しかし県公安委員会では、予算の関係上県内に年間20基しか設置することができず、また県内からもかなりの要望が出されているため、即座に要望に答えることは非常に難しい現状です。市としては、伊万里警察署、県公安委員会に対し、早急に信号機を設置してほしいという要望を引き続き行っていききたいと思います。

「タワーを利用してください」という立て札を両側に立てて啓発を図ってはどうか。

A 【市長】 よい意見をいただきました。駅ビルのエレベーターは外からも人が乗っていることがわかるので、密室ではなく安全です。今後、エレベーターの利用促進、利用の仕方（立て札など）を考えていきたいと思っています。

Q 駅ビルにエレベーターが多い。「道路横断を止めてエレベ





テーマ

立花地区の魅力あるまちづくりについて
伊万里市の将来展望について

Q 立花台地の第2期開発事業（立花公民館周辺）について。相当の資金が投じられていると思うが、分譲を早くしないと市の財政にしわ寄せが来るのではないか。今後の計画についてお尋ねしたい。

A 【市長】立花台地の第2期開発事業は、事業費16億7千万円で平成12年度に工事が完了しました。総区画数は148区画（一般住宅区画122、店舗等区画15、工場等区画5、行政業務用地区画6）で、その目的の一つには公共事業の代替地確保というのがあります。分譲は平成9年ごろから代替地として始まり、現在の分

譲状況は、平成16年度末見込みで計41区画（住宅区画31、店舗等区画5、工場等区画2、行政業務用地区画3）を分譲しています。市の財政への影響については、この開発事業は、特別会計として一般会計とは切り離れた会計処理になっています。現時点での計画では、平成40年までの事業期間で、支出21億6千万円、収入25億6千万円となり、黒字の精算を見込んでいます。また、今後の公共事業で代替地としての需要がどれだけあるかを推測しながら、一般分譲をしても差し支えないというような所は、どなたにでも分譲しています。しかし、立花開発は、目的が公共事業の代替地確保であるので、土地は政策上確保しておかなければならないというのが実情です。

Q 現在、新聞やテレビで報道されている学校の安全について。市としてどのような考えを持っているのか。

A 【教育長】今年度、市内でも「車に乗らんね」といった声かけ事件が3件ほど発生しています。幸い大事には至らなかったが、危険な状態と思っています。登下校中の犯罪対策として現在取り組んでいるのは、子どもたち自身に

意識化を図らせるため、先生の指導のもと、子どもたちに『ハザードマップ（通学路での危険なところを地図にしたもの）』を作らせている学校もあります。また、下校時に先生がステッカーを貼った車で巡回したり、子どもがどこを通り、どこで1人になるのかを調査して、家庭との連携をとっています。さらに今後は、近所の人や地域団体に道に出てもらうとか、声をかけるとか、地域でできることからやっていただくようお願いしたいと思っています。学校内への不審者侵入の対策については、全学校に防犯ベルを設置した際に、もし侵入があった場合にはどうするのかというマニュアルを作成しています。侵入防止には3つの方



法（抵抗する 入らないようにする 監視性）がありますが、特に、たくさん目で見て不審者を見つけたらすばやく連携して対処するという『監視性』を大事にしたい。そのために、地域の人たちの協力をお願いしていきたいと考えています。

Q 『住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里』、バリアフリー、観光、福祉の面から提案する。車いすで利用できるトイレなどがあることを知らせる看板や標識を設置してはどうか。また、観光パンフレットにもぜひ載せてほしい。他市町では実施していて非常にありがたい。実施すれば、まさに人を呼び込む有効な手段となるのではないかと。

A 【市長】非常に貴重なご意見です。まさに、健康な方も身体の不自由な方もバリアフリーでもとに支えあう地域社会は、大切な視点であると思っています。観光ガイドの問題や、パンフレットに身障者トイレなどを記載することなどは、やろうと思えばすぐにできることなので、さっそく伊万里市も実行に移したいと思っています。できることはすぐやりたいと思います。今しばらく待つてほしいと思います。



第11回

春の花が咲く花苗ハウスで

鶏料理を楽しもう



2月18日、『鶏と産直野菜』をテーマに第11回畑の中のレストランが開催され、市内外

伊万里市は、市民にとって『住みたいまち』、訪れる人にとって『行きたいまち』となる魅力ある伊万里市を市民の皆さんとともに創りあげたいと考えています。このコーナーでは、伊万里市の魅力や新しい魅力となる事業などを紹介します。

から27人が参加しました。当日は、東山代町のJA佐賀経済連ピラフ工場を見学。『有明鶏』の生産から加工、流通の安全・安心を徹底させた取り組みについて学びました。昼食は、波多津町の花苗ハウスで、『JA伊万里プロイラー部会』と『JA伊万里波多津支所産直の会』の農家女性で作った鶏飯や季節野菜と手羽先の煮物、イチゴ大福などの『波多津産直料理』を味わいました。また食後は、ハウスの花苗を選んで、ミニガーデンングに挑戦しました。



祝 食のまちづくり宣言

波多津での畑の中のレストランの開催は、漁港に続き今回が2回目。波多津は、牛や豚、ブロイラーなどの畜産、キュウリやイチゴ、シイタケなどの野菜、梨やミカンなどの果樹、茶など、市内でも多品目の農産物が生産されています。参加者は、「波多津は水産物だけでなく、こんなにいろいろな農産物があつて素晴らしいところですね。はじめて知りました」「波多津は、海のものも山のものもすべてがそろつともおいしいところなんです」と感想を話していました。

第12回

青螺丘梅園でひなまつり

3月3日、第12回畑の中のレストランが開催され、市内外から25人が参加しました。今回は、大川内地区を中心に、農産物直売所やシイタケなどの畑、酪農の牛舎の見学を行いました。はじめに、一行は大川内町平尾の野菜畑を見学。生産者が「一年中いろいろな野菜をつくっています。畑にこない日はないですよ!」ときれいに耕された畑を紹介し、野菜栽培のポイントや、せっかく育てた野菜を小鳥に食べられたりする苦労などを披露し、消費者と意見を交換しました。



昼食は、青螺丘梅園に移動し、大川内ふれあい直売所『青螺の里』会員の手作り料理を味わいました。『青螺の里』は、JA伊万里大川内支所の女性部員の有志が集まつて平成12年にオープン。露地栽培が中心で、55名の会員が丹精こめて育てた旬の野菜と花が自慢の農産物直売所です。メニューは、昔から大川

内で『ひなまつり』の日に食べられている焼きサバ入りの混ぜご飯、大豆のおよごし、かきあえ、菜の花の吸い物、よもぎだごなど。伊万里焼の器に盛りつけられ、焼物の雛人形などのかわいい演出もありました。参加者は「懐かしい味がした。幼いころのひなまつりを思い出した」「やつぱり伊万里は食と器のまちですね。おいしい料理も器がいいとより一層うまさがひきたちますね」と感動しきりでした。



<青少年健全育成大会>

夜回り先生 水谷修さん講演



13年にわたり全国の繁華街の深夜パトロールを行いなから、若者の非行防止や更正に取り組んできた元高校教諭の水谷修さんが、2月27日、伊万里中学校体育館で『さらば、哀しみの青春』私たちにできないこと、しなければならぬこと』と題した講演を行いました。



した。

これは、大坪地区青少年育成町民会議が諸団体の協力を得ながら行ったもので、テレビの報道などで『夜回り先生』として知られる水谷さんには、平成15年7月に講演を依頼していました。当初は、大坪公民館で予定されていたところ、公聴希望者が多かったために、伊万里

中学校体育館に会場を変更して開催。会場には父母や中学生、教育関係者など1000人を超える観衆が詰めかけました。

水谷さんは、シンナー、麻薬、覚せい剤などの薬物乱用が、子どもたちの心や体を蝕むばかりではなく、凶悪な犯罪を引き起こすなど社会問題になっていることに真正面からぶつかって来た経験を話しました。

最近の青少年の薬物使用の実態や薬物から守る方法を訴えながら、地域の人たちや子どもたちの両親に「もつと子どもたちの深い哀しみを知り、愛と優しさをあげてほしい」と話しました。

図書館めばえの日

ぜんざいを食べて 図書館建設を祝う

2月27日、市民図書館で『図書館めばえの日』の催しとして、会場に集まった人たちに甘くておいしいぜんざいがかかるまわりました。

この『図書館めばえの日』は、今年で12回目。起工式が

行われた平成6年2月26日、整地されただけの建設用地に

『図書館づくりをすすめる会』の呼びかけで市民200人が集まって、その時にぜんざいを食べながら「図書館が新しく誕生しようとするこの日を、これからも毎年お祝いしていこう」と提案されたのがきっかけで始まりました。

今年も大勢の人たちが集まり、ぜんざいを食べて図書館の誕生をお祝いしました。

郷土の文化財

伊万里市の文化財

東山代の明星桜

～夜空に燃え映える花びらの宴～

明星桜は東山代町浦川内地区の観音堂境内にあります。根回り約5m、樹高約13m、枝張り東西21mの巨木です。

地面からすぐ幹回り2mの主幹4本が分かれ、3月末～4月初めに薄紅色の花を咲かせます。サクラはバラ科で、暖帯林、特に照葉樹林の中で育ち、寿命は100年前後といわれます。

明星桜は、主幹の状況などから100年をかなり上まわる樹齢が推定でき、県内の桜でも代表的な古木です。平成5年(1993)に佐賀県天然記念物に指定されました。

品種は、一重サクラです。オオヤマザクラ系とされていましたが、ヤマザクラに比べて開花時期が早く、葉の形に違いがあるので、エ



ドヒガン系という見方が有力になっています。

今から800年以上前に京都の浦内淡路守が松浦党の源直の家臣になり、浦川内を開拓しました。淡路守が望郷の念にかられて京都の壬生寺の桜を植えたという伝説があります。

夜間、樹下で火を焚いて眺めると、花びらが火に映えて、明星のおもむきがあるというのが名の由来です。



みんなの

広場



3.21

沖縄の伝統芸能『エイサー』

市民グループのやる気と情熱が集結！

物産展や各種催しを市民グループが中心となって行う『やよいまつり』が伊万里駅前公園でありました。当日は農産物屋台村が開かれ、新鮮野菜や果物、農家手づくりの押し寿司やまんじゅうなどが飛ぶように売られていました。また、大鍋で作った伊万里牛汁が無料で振る舞われ、こちらも大盛況。さらに、華麗で勇壮なヨサコイや沖縄の伝統芸能エイサーも披露され、広場は一日中にぎわいを見せていました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。
☎23-2111(内線207)



2.14

半年間の研修おつかれさまでした

中国大連市からの農業研修生劉 暘さんが昨年9月からの研修期間を終え、塚部市長から修了証書を受け取りました。劉さんは「伊万里の皆さんにはたいへんお世話になりました。これからも両市の友好交流のためにがんばります」と今後の抱負を語りました。



2.21

おきの めくみ
沖野愛美さん

かじはらあやか
梶原彩香さん

いわまさけんた
岩政純汰くん

たなか りょう
田中 遼くん

こうき ゆうすけ
幸喜雄介くん

黒川小学校の5人が善行表彰を受賞

人命救助や障害のある友人の下校を毎日サポートしたとして、黒川小学校の児童5人が善行児童生徒表彰(県教育長表彰)を受賞しました。この日5人は受賞報告に市長を訪問。市長は「皆さんの手本となるようこれからもがんばってください」と激励しました。

みんなの手で塩生植物を守りましょう

山代町塩生植物保存会とやましろ塾の皆さんが、絶滅が心配されている貴重な塩生植物の保護活動として、生育地3か所(佐代川、穴岩、小島公園)の清掃と立て看板設置を行いました。地域の財産として次世代まで残していくために、皆さんも環境保護に努めましょう。



3.15

塩生植物とは、海岸や塩湿地帯など塩分に富んだ地区に生育する植物で、シバナ、ハマツツナ、ハマウド、ハマナデシコなどがあります

3.2



プロの演奏家と子どもたちが夢の共演

文化庁の『本物の舞台芸術体験事業』の一環として東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団が南波多小学校を訪れ、子どもたちの笛や合唱と共演しました。当日は、児童のほか南波多中学校の生徒や保護者もつめかけ、プロが奏する迫力の生演奏を堪能しました。

子どもが健やかに育つ環境づくりを！

『みんなで 手をつなぎ 育ちあい』をテーマに子育てフェスタが市民会館でありました。当日は、歌やお話し会、ミュージカルなど多彩な催しがいっぱい。会場は、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで、多くの家族づれでにぎわいました。

2.27



3.6



こころを耕すというお話を図書館で

『からゆきさん』などの著書で知られる森崎和江さんの講演会が市民図書館でありました。森崎さんは、自分の孫を幼稚園に送っていく時の会話や孫のつぶやきなどの身近な話から、地球や自然を救う話などいろいろな話で参加者を楽しませていました。

とっても楽しかったよ！いまりんバス

立花保育園の年長組25人が、いまりんバスの張り絵を市に贈りました。この張り絵は、2月22日に行われた体験乗車のお礼にと子どもたちが作成したものです。一人ひとりの顔を自分で書いてバスに張ってある、とても楽しい子どもたちの思い出の絵です。



3.15

3.2



軽可搬消防ポンプ交付式
 頼もしい味方が登場

春の火災予防運動期間中の3月2日、女性一日消防官の任命や防火作文・消防スケッチの表彰、ランドセルカバの贈呈が消防本部で行われました。またこの日は、婦人防火クラブへの軽可搬消防ポンプ2台の交付式も行われ、交付後さっそく同クラブの皆さんが器具の取り扱いと放水の訓練を受けました。このポンプは、財団法人日本消防協会から寄贈されたもので、今後、地域における初期消火活動の向上と、火災予防の普及が期待されます。

ほがらがが ページ

スタミナ焼肉オリエンテーリング

食べて遊んで春を満喫

春の恒例行事『スタミナ焼肉オリエンテーリング』が、3月20日に行われました。当日は、親子連れなど62組236人が参加。国見台運動公園を出発し、7つのチェックポイントをクリアしながらゴールの

腰岳千畳敷をめざしました。チェックポイントでは、肉や野菜など焼肉の材料を獲得するために参加者がゲームやクイズに挑戦。悪戦苦闘しながらもすべての材料を手に入れた、ゴールの千畳敷に到着すると、用意されたバーベキューセットでおいしい焼肉を楽しみました。



丸太切り(第3チェックポイント)

四季の詩

ひむがしの空狭めたる春の月

新天町 大久保 純子

風に揺れ舞ふが如くにしなやかな名古屋城
趾のしだれ桜は

本町二丁目 前田 智子



いつまでもお元気で 高森ハルさんと 牟田ルンさんに 百寿メダル



高森ハルさん(波多津町辻)

高森ハルさん(波多津町辻)と牟田ルンさん(東山代町滝川内)のお二人が、2月18日めでたく百歳の誕生日を迎えられ、塚部市長から百寿記念メダルが贈られました。

高森ハルさんは、病気知らずでもお元気。90歳まで畑仕事をしていたというから驚きです。最近ではテレビを観るのが日課で、特に時代劇が大好き。ナマコとお酒が好物で、お酒は今でも盃一杯分を毎日欠かさず飲んでいきます。

市長が「いつまでもお元気でいてください」と声をかけると、ハルさんは「わざわざ来てくれらしたとやる、ありがとうございます」と笑顔で答えていました。

一方の牟田ルンさんも、ハルさん同様とてもお元気。95歳ごろまでは庭仕事もしていた働き者です。好き嫌いな



牟田ルンさん(東山代町滝川内)

何でもよく食べ、日課は新聞を読むこと。また、佐世保市に住む同級生と手紙のやりとりをずっと続けていて、今でもしつかりとした字で手紙を書いています。

市長から百寿記念プレートとメダルを受け取ったルンさんは「お酒はなかばってん、お茶をどうぞ」とにっこり。市長のお祝いの言葉にも終始笑顔で答えていました。

皆さん、調子は どうですか？

市民病院の医師やスタッフが、皆さんの健康管理に役立つ情報を紹介するコーナーです。今月の担当は、主任看護師 中島明美さんです。

市民病院 (☎ 4121)

今月は、花粉症（季節性アレルギー性鼻炎）についてお知らせします。花粉症は、日常生活で花粉を回避する習慣を身につける薬剤を予防的に使うことで上手にコントロールしていきましょう。



症状

鼻：発作的なくしゃみをも何度も繰り返す、水っぽい鼻汁や鼻づまり、鼻のかゆみ目：かゆくなり涙がでる、まぶたが腫れ、結膜も腫れて赤く充血する
その他：だるさ、咽頭掻痒（のどがむずむず刺激されてかゆい感じ）、咳発作、皮膚のかゆさ、頭重、集中力の低下、不眠など

花粉の飛散時期

スギ花粉は2月～3月、引き続きヒノキ、4月からマツやイチヨウ、6月からはイネ科の植物、夏から秋にかけてはブタ草、ヨモギ

治療

花粉の回避：花粉の飛散が多いと予想される日は外出を控え、風がなければ雨の

日以外は家の窓や戸も閉めます。夕方になってから窓や戸を開け、換気、掃除をします。水道水で洗顔、うがいをし、鼻をよくかみます。メガネを着用したり、花粉が衣服に付きにくいようにすすすべの生地にすることも有効です。甜茶（てんちゃ）という中国茶は予防効果が確認されています
薬物療法：『抗アレルギー剤』、『抗ヒスタミン剤』、『局所ステロイド剤』が主に用いられます。最近非常に有効なのが、花粉飛散時期に入る2週間位前から予防的に『抗アレルギー剤』を内服して症状を軽減させるといふ方法です。スギ花粉の飛散時期では1月下旬から2月初旬に開始すれば

間にあつようです
治療で気をつけることは
早めの診断を受ける
薬による眠気に注意する
薬の併用に注意する（一部の抗アレルギー剤はある種の抗生剤で、不整脈を起したり、向精神薬やアルコールとの併用により吸収が促進されることがあるので要注意）
標準的な治療法を選ぶ（花粉症は他の疾患と同様、種々な民間療法が氾濫していますが、たいていは効果や副作用が定かでないものが多いのです。大量のステロイドの注射を行っている医療機関が一部にあるようですが、効果はあっても副作用のリスクが高く、花粉症に対してはすすめられません

わが家の



さかもと かける 坂本 翔琉くん (1歳 2か月)

祐介・葉子さんの長男
大川内町市村



おかあさんからひとこと



笑顔が一番の翔琉！いつまでもその笑顔で周りを幸せにしてあげてね。たくましく、やさしい男の子に育ってください。
ぼくはお外で遊ぶのが大好き。だから冬の寒い日だって元気に外に遊んでたんだ。春になってだいたいぶあつたくなってきたから、これからもしっかりとお外に出ていくゾ。今度はお父さんお母さんといっしょに、ちよつと遠くまでお弁当を持って遊びに行きたいな。



かねこ あや 金子 紘さん(19歳)

富士町
ふたご座・A B型



将来の夢は小さいころからの憧れだった看護師になることです。今は伊万里看護学校に通って2年目になります。休日の楽しみは友達とカラオケボックスに行くことかな。今までの最長記録は、2人で12時間歌い続けたことですね。がんばっていることは伊万里エイサー隊に入っで、沖縄の伝統芸能『エイサー』踊りを練習しています。沖縄で毎年8月に開催される『1万人エイサー』に、いつか仲間といっしょに出場してみたいですね。



各町対抗卓球大会・ラージボール大会 実力者たちが熱戦展開



平成16年度各町対抗卓球大会・ラージボール大会が、3月13日、青嶺中学校体育館でありました。今大会には、市内各町の実力者約60人が出場。外では小雪が舞う厳しい寒さのなか、各町対抗の部（団体戦）とラージボールの部（個人戦）でそれぞれ熱戦を展開しました。なお、試合の結果は次のとおりです。

【各町対抗の部】

| | | | | | |
|----|-----|----|----|----|-------|
| 優勝 | 伊万里 | 2位 | 二里 | 3位 | 大川・立花 |
|----|-----|----|----|----|-------|

【ラージボールの部】

| 一般男子 | | 一般女子 | |
|---------|-----------|---------|------------|
| 優勝 | 下平悦也(大川内) | 優勝 | 橋口美和(二里) |
| 2位 | 鈴木政義(伊万里) | 2位 | 中尾文子(山代) |
| 3位 | 松尾仁(二里) | 3位 | 下平久美子(大川内) |
| 3位 | 小松正弘(二里) | 3位 | 内山亜紀(大川内) |
| 男子40歳以上 | | 女子30歳以上 | |
| 優勝 | 仲尾安喜(大川) | 優勝 | 辻富士美(立花) |
| 2位 | 松尾和見(立花) | 2位 | 仲尾弘子(大川) |
| 3位 | 原田涼一(伊万里) | 3位 | 西田尚美(東山代) |
| 3位 | 田代省吾(大川) | 3位 | 松尾三千子(大坪) |

4月の町民スポーツ

- 16日(土)
大川内町民
グラウンドゴルフ大会
16時開会 大川内小学校
- 24日(日)
西田旗争奪
スローピッチソフトボール大会
8時半開会 東山代運動広場
- 5月8日(日)
伊万里町民運動会
8時45分開会 伊万里小学校
波多津町民体育祭
8時半開会 波多津運動広場

4月の市民スポーツ

- 3日(日)
市内ダブルスバドミントン
選手権大会
9時開会 国見台体育館
- 17日(日)
市職域クラブ卓球大会
9時開会 国見台体育館
- 30日(土) 5月1日(日)
伊万里地区招待高校野球大会
9時半開会 国見台野球場
- 5月3日(火)
国見台陸上競技選手権大会
9時20分開会
国見台陸上競技場
- 5月3日(火)~
市長旗争奪伊万里地区
高等学校野球春季大会
9時開会式 国見台野球場

九州少年サッカー大会県予選

FC伊万里ファイターズが初V

第36回九州少年サッカー大会県予選の決勝が2月20日、県総合運動場で開かれ、FC伊万里ファイターズが三田川少年を7対2で破りうれしい初優勝を飾りました。この結果、FC伊万里は3月27日から沖縄で開催された九州大会に出場しました。



伊万里地区 招待高校野球大会

- 期 日(2日間)
4月30日(土)、5月1日(日)
- 会 場 国見台野球場
- 組み合わせ(変更の場合有り)
- 【4月30日(土)】
- ▶第1試合(9時半～)
敬徳高校vs招待高校A
- ▶第2試合(12時～)
伊万里農林高校vs招待高校A
- ▶第3試合(14時半～)
伊万里高校vs招待高校B
- 【5月1日(日)】
- ▶第1試合(9時半～)
伊万里商業高校vs招待高校B
- ▶第2試合(12時～)
招待高校Bvs招待高校C
- ▶第3試合(14時半～)
有田工業高校vs招待高校C
- 入場料 無 料
- 問合せ
県西部地区高野連(☎☎3101)

第2回郡市対抗 佐賀マスタース駅伝大会

伊万里市が3位入賞!

昨年(4位)を上回る成績



- ◆期 日 3月13日(日)
- ◆会 場 吉野ヶ里歴史公園
- ◆参 加 25チーム・110人
- ◆コース 10区間20キロ
- ◆成 績(郡市対抗の部)
①佐賀郡 ②杵島郡 ③伊万里市
- ◆伊万里市選手(順不同)
監督 金子義徳(山代)
選手 松尾茂信(立花)
牧瀬光之(二里)
岩橋俊一(二里)
斉藤勝己(大坪)
長谷川康裕(波多津)
瀬上正則(牧島)

伊万里さわやかスポーツ・レクリエーション祭

仲間といっしょに エンジョイスポーツ!

第12回伊万里さわやかスポーツレクリエーション祭が、3月20日、国見台運動公園を中心に開催されました。

この日は、インディアカ、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、ペタンク、ミニサッカー、アジャタ(玉入れ)の6種目が行われ、小学生からお年寄りまで629人が参加。各会場の参加者の顔には、勝っても負けてもさわやかな笑顔、そしてさわやかな汗が光っていました。

なお、各競技の上位の成績は次のとおりです。

グラウンドゴルフ

Aパート

- ①松尾民子(みどりが丘)
- ②坂井 誠(川内愛好会)
- ③前田 満(里和会)

Bパート

- ①畑山シゲ子(栄町GG同好会)
- ②井上真太郎(栄町GG同好会)
- ③御厨菊代(大川内体協クラブ)

Cパート

- ①田口 覚(南波多福寿会)
- ②鳥山安太郎(多々良)
- ③高田 篤(栄町GG同好会)

ソフトバレーボール

【小学生の部】

- ①東山代ジュニアC
- ②東山代ジュニアA

【一般の部】Bパート

- ①月人(星組)
- ②サタデイズB

【一般の部】Cパート

- ①Lovers
- ②ピッカーズ

玉入れ(アジャタ)

- ①池田セメント
- ②大 川

ミニサッカー

- ①伊万里ファイターズA
- ②伊万里ファイターズB

ペタンク

- ①山 代
- ②小石原B

インディアカ

Aパート

- ①東山代ドキドキ
- ②馬場組

Bパート

- ①東山代ハラハラ
- ②松浦B

Cパート

- ①東山代ノリノリ
- ②東山代イケイケ





お知らせ

やる気のある
企業等を支援します

工場等設置奨励金制度の条件が緩和されます
市内に工場を新設や増設、または新たな設備を導入する
場合、固定資産税の軽減、奨

励金の交付などの優遇措置を実施しています。

平成17年度から、優遇措置の対象が投下固定資産（工場や設備の合計）が2千万円を超える場合に緩和されました。

新商品や新技術の開発を支援します

新商品・新技術などの開発をする市内企業に対し、その開発に要する経費の2分の1以内（限度額100万円）を補助します。

各制度には一定の条件があります

問合せ先
商工観光課商工振興係

(☎23) 2111内線352

国から市への法定外公共物の譲与について

国土交通省所管の財産である法定外公共物（里道・水路

など）の伊万里市への譲与が、

平成17年3月31日をもって完了しました。これにより、伊万里市内の里道・水路などの財産管理は伊万里市が行うこととなります。

里道・水路の境界、付け替え、払い下げなどに関するごことは、建設部土木管理課にご相談ください。

問合せ先 土木管理課

(☎23) 2111内線335

ぼしゅつ

糖尿病教室・昼食会
に参加しませんか

対象 糖尿病の患者さん
とその家族（一般の人も生活習慣病予防のためにぜひご参加ください）

日時 4月20日（水）
午前11時半～午後1時

場所

市民病院 東病棟2階

参加費用

昼食代として500円

当日徴収します

申込方法 市民病院備え付けの申込用紙または電話で

申込・問合せ先

市民病院栄養給食係

(☎23) 4121

子育て支援センターに遊びに来ませんか

①わくわく広場

就園前の乳幼児とその保護者

★ちゅうりっぷコース

【月曜日】10:00～12:00

4月4日、11日、18日、25日

【金曜日】13:00～15:00

4月1日、8日、15日、22日

★ひまわりコース

【金曜日】10:00～12:00

4月1日、8日、15日、22日

【水曜日】13:00～15:00

4月6日、13日、20日、27日

②わくわくベビー

0～1歳3か月までの乳児とその保護者

【水曜日】10:00～12:00

4月6日、13日、20日、27日

【月曜日】13:00～15:00

4月4日、11日、18日、25日

※申し込みは不要です

◆問合せ先 子育て支援センター
(☎23) 5197

守ろう交通ルール 高めよう交通マナー 春の交通安全県民運動 4月6日(水)～15日(金)

◆『新入学児童を交通事故から守る日』市内一斉キャンペーン

小学校に入学した新1年生にとっては、慣れない通学路を通ることや、友達が増え行動範囲が広がることで、交通事故にあう危険性が高まります。

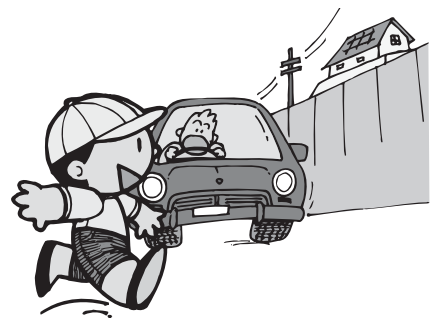
そこで、伊万里市交通対策協議会では、初めての試みとして、新入学児童を交通事故から守るため、市民総参加の『新入学児童を交通事故から守る日』市内一斉キャンペーンを行います。

【通学指導】

▷日時 4月15日(金) 午前7時～7時50分

▷内容 ●道路の正しい歩き方 ●道路横断の方法 ●あいさつなどの声かけ指導を行います

※当日は、各小学校の通学路で、各町の交通安全役員、交通安全指導員、新入学生の保護者の皆さんにより、市内一斉に新1年生に対する通学指導が行われます。市民の皆さんの多数のご参加をお願いします



【運動の重点】

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 自転車の安全利用の推進
- シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

【交通事故の発生状況】(2月28日現在・前年同期比)

- 人身事故 …… 86件(+14)
- 死者 …… 1人(±0)
- 傷者 …… 105人(+19)
- 物損事故 …… 185件(-8)
- 飲酒運転検挙者数…8人

4月の行事

- 市民会館** ☎②7105
16日(土) 演劇公演『かげろうたちの夏』
18:30 開演 2,000円
- 市民図書館** ☎③4646
23日(土) 子ども読書の日
『おはなしいっぱい』
・10:00～ 小学生向け
・11:00～ 赤ちゃん向け
・14:30～ いつものおはなしかい
- 29日(金) みどりの日 特別開館
10:00～17:00
- ★映画上映会(無料) 13:30～
10日(日) 一映「アイ・ラブ・ユー」
20日(水) 一映「赤ちゃん教育」
27日(日) 一映「アイ・ラブ・ユー」
- ★おはなしかい
毎週土曜日 14:30～15:00
のほりがまのおへや
- ★おはなし012(赤ちゃんやちっちゃい子たち向け)
毎週木曜日 11:00～、11:30～(1日2回)
のほりがまのおへや

市民相談

会場:市役所1階市民相談コーナー
時間:10時～15時 無料・秘密厳守

- ▶法律 (水) 13.27
- ▶暮らしのトラブル相談 (木) 7.5月6日
- ▶暮らしの知恵相談 (木) 21
- ▶交通事故 (火) 12
- ▶行政 (水) 20
- ▶人権 (火) 5.19
- ▶身障者 (月) 25
- ▶消費生活 (月) 4.11.18.25
- ▶女性就業 (水) 6.13.20.27
- ▶社会保険 (金) 1.8.15.22

- ボランティア相談…毎週月曜日
10時～15時 会場 市民ロビー
- 緊急巡回労働相談…毎月第3火曜日
10時～16時 会場 市民ロビー
- 健康相談…毎月第1火曜日
13時半～15時 会場 市民ロビー

困ったときは早めに相談を!

悪徳商法のトラブルに巻き込まれてしまった場合や巻き込まれそうな場合、また、クーリング・オフについては法律等専門的な知識が必要になってくる場合があります。そんなときは、すみやかにご相談ください。
◆問合せ先 情報広報課市民サービス係
(☎③2111内線225)

第26回伊万里市 美術展の作品募集

会期
前期(絵画・工芸等)
5月25日(水)～29日(日)
後期(書・写真)
6月1日(水)～5日(日)
会場 市民センター
応募資格
高校生以上で市内在住の人
(写真部門のみ中学生以上可)、または市内に勤務する人。応募作品は、未発表のものに限りません
募集部門 絵画、デザイン、彫塑、書、写真、工芸
それぞれに応募規定がありますのでご注意ください
募集要項・申込書は生涯学習課

習課および各町公民館にあります

しけん 防衛庁職員採用試験

種試験受験資格
昭和47年4月2日～昭和59年4月1日生まれの人

昭和59年4月2日以降生まれの人で次に該当する人
大学を卒業した人および平成18年3月までに大学を卒業する見込みの人
防衛庁が、前記に掲げる人と同等の資格があると認める人
受付期間
4月1日(金)～15日(金)
第1次試験 5月8日(日)
種試験受験資格
昭和51年4月2日～昭和59年4月1日生まれの人
昭和59年4月2日以降生まれの人で次に該当する人
大学、短期大学または高等専門学校を卒業した人および平成18年3月までに大学、短期大学または高等専門学校を卒業する見込みの人

防衛庁が、前記に掲げる人と同等の資格があると認める人
受付期間
4月1日(金)～15日(金)
第1次試験 6月12日(日)

問合せ先 ☎812001
福岡市博多区博多駅前
3 福岡市博多区博多駅前
2 福岡市博多区博多駅前
10 福岡市博多区博多駅前
3 福岡市博多区博多駅前
8 福岡市博多区博多駅前
8 福岡市博多区博多駅前
1 福岡市博多区博多駅前

軽自動車税コンビニ収納サービス開始!

郵便局もOK

伊万里市の軽自動車税は、平成17年度から大手コンビニ22社の全国どの店舗からでも納めることができるようになります。
今までは銀行などの金融機関の営業時間内に出向いて納める必要がありましたが、これからはコンビニで、お買い物のついでに軽自動車税を納めることができます。
また、この納付書でコンビニや金融機関のほかに、九州管内(沖縄を除く)の郵便局でも納めることができるようになりました。
納期限は5月31日です。期限内の納付にご協力をお願いします。
※なお、納期限後はコンビニ・郵便局での納付はできませんのでご注意ください
◆問合せ先
税務課管理係(☎③2111内線233)



ふるさと
故郷・伊万里から遠く離れて仕事などに頑張っている伊万里出身者がいらっやいます。
また「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店なども数多くあります。
このコーナーでは「伊万里」と縁が深いみなさんのお便りをご紹介します。

『伊万里市民へのメッセージ』

中国・大連市 趙 敏さん



2003年6月、わたしは、日本へ公務研修に行く機会に恵まれました。たった一年間の日本滞在でしたが、今でも懐かしい気持ち一杯で、一生忘れられない思い出がたくさんあります。

その時、伊万里市の土を踏んだわたしは、日本に対して何もわからない外国人でした。それが伊万里市民の皆様のご指導で、なんと一年無事に、そして充実した研修生活を送ることができました。市役所の皆様や市民の皆様がみんな優しくしてくださいました。おかげさまで、ホームシックなど感じたことがありませんでした。一年間の滞在時間を通じて、大変多くのものを学び取りました。特に日本の進んだ経営理念、発

達した交通と工業施設、また、日本人の時間観念、仕事の能率や仕事に対する熱心さなど、いずれもみなわたくしに深い感銘を与えました。

また、伊万里市民の温かい友情はいつまでも忘れられない美しい思い出でした。帰国しましても、皆様の溢れる友情を我國の多くの人々に伝えていきます。

わたしは、今、中国大連経済技術開発区管理委員会で仕事をしています。大連経済技術開発区は、中国でもっとも早く建設された開発区の一つです。開発面積が広く、総合的なインフラが整っていて、すでに700社余りの日系企業が進出していています。例えば、日本の大手企業がほとんど大連開発区に進出しているという状況で、1000人余りの日本の方がこの天に恵まれた土地で駐在生活をエンジョイしています。目下わたしたちは、経済の繁栄と美しい環境を実現し、文化の香り高い活気溢れる新しい町を造るために頑張っ

います。

わが大連市政府および大連市民は、伊万里市の皆様のご来訪を心からお待ちしています。中日両国人民は2000年余りの友好往來の歴史を持っていて、これから両国人民の友情は必ずや泰山、富士山のようにいつまでも存続するであろうと思えます。微力なわたしですが、精一杯努力して、大連と伊万里市の友好のためにできる限りのことをするつもりです。

伊万里市民の皆様、もう一度心から感謝の意を表します。どうもありがとうございます。



大連経済技術開発区金馬路



人のうごき

| | | |
|-------------|----------|--------|
| 平成17年3月1日現在 | | |
| 人口 | 59,380人 | (+ 13) |
| 男 | 28,336人 | (+ 10) |
| 女 | 31,044人 | (+ 3) |
| 世帯 | 20,777世帯 | (+ 13) |
| | () | は前月比 |

広報 伊万里 2005-4

発行日 / 平成17年4月1日
発行編集 / 伊万里市情報広報課広報係
(0955)23-2111
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花台1-1-1
伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
印刷 / 株式会社 三光

広報係に珍しいことが起こったと右の写真が届きました。
これは、2月22日に行われた大坪町あさひが丘グラウンドゴルフ大会での出来事です。(伊万里では初めてではないかというのですが...)
詳しく言いますと、6番ホール距離15メートル、第1打目がスモールポストで写真の通りになったそうです。
ルールブック第2章、ゲームに関するルールの(12)には「ホールインワンは第1打がホールポストに入ったとき」とありますが、皆さんはどのように判断されますか？実は、これは「トマリ」と判定され、この場合ホールインワンになるそうです。(S)

編集室から

